

Q Findy

エンジニア 調査レポート

エンジニア605名のAI活用状況と
この先のキャリアの展望



調査結果サマリー

**88.0%のエンジニアが
業務で何らかのAIツールを利用**
半年間で **Gemini , Cursor** の利用率が2倍以上上昇

**個人でAIツールに課金している
エンジニアの割合は47.1%**
課金額の平均は5,776円で、
ChatGPTやClaude , Cursor への課金率が高い

**66.9%のエンジニアが
AIの普及をきっかけにキャリアを検討**
15.2%のエンジニアは既に転職活動中

**81.2%のエンジニアが転職先として
「AI活用に積極的な企業」を希望**
一方、現状での個人のAIスキルによっては“現職と同等
くらいのAI活用度”の企業を志望される心境も見られた

1.調査対象者の概要

- 回答者の年齢・経験年数
- 回答者のマネジメント状況
- 回答者の所属企業の規模
- 回答者の職種
- 回答者の年収帯

2.AIツール・技術の活用状況

- 業務でのAI活用状況
- ツール別の活用状況
- 個人でのAIへの課金額
- ツール別の課金状況
- AI関連用語の認知度
- AIがもたらした業務への影響
- AIの普及に対する感情

3.AIの普及によるキャリア選択への影響

- 転職意向の変化
- 自身のAI活用状況と志望先企業の状況
- 企業規模別のAI活用のイメージ
- エンジニア職以外の職種への関心
- AI活用に積極的なイメージの企業
- 自己研鑽の変化

おわりに

- Findyからのご案内

本レポートは、Findy会員に対して下記概要のWebアンケートを実施し集計・分析したものになります

※本レポートではエンジニアならびにPdM・PjMの回答のみを分析対象としています ※小数点第2位を四捨五入した結果を表示しています

※一部回答は、読みやすさを考慮して、元の意味を変えない範囲で編集しています

調査方法：Findyサービス会員に対して、サービス内でアンケートを実施

調査名： エンジニアのキャリア・生成AIの影響に関するアンケート

調査期間：2025年6月8日（日）～2025年6月17日（火）

調査項目：最大30問

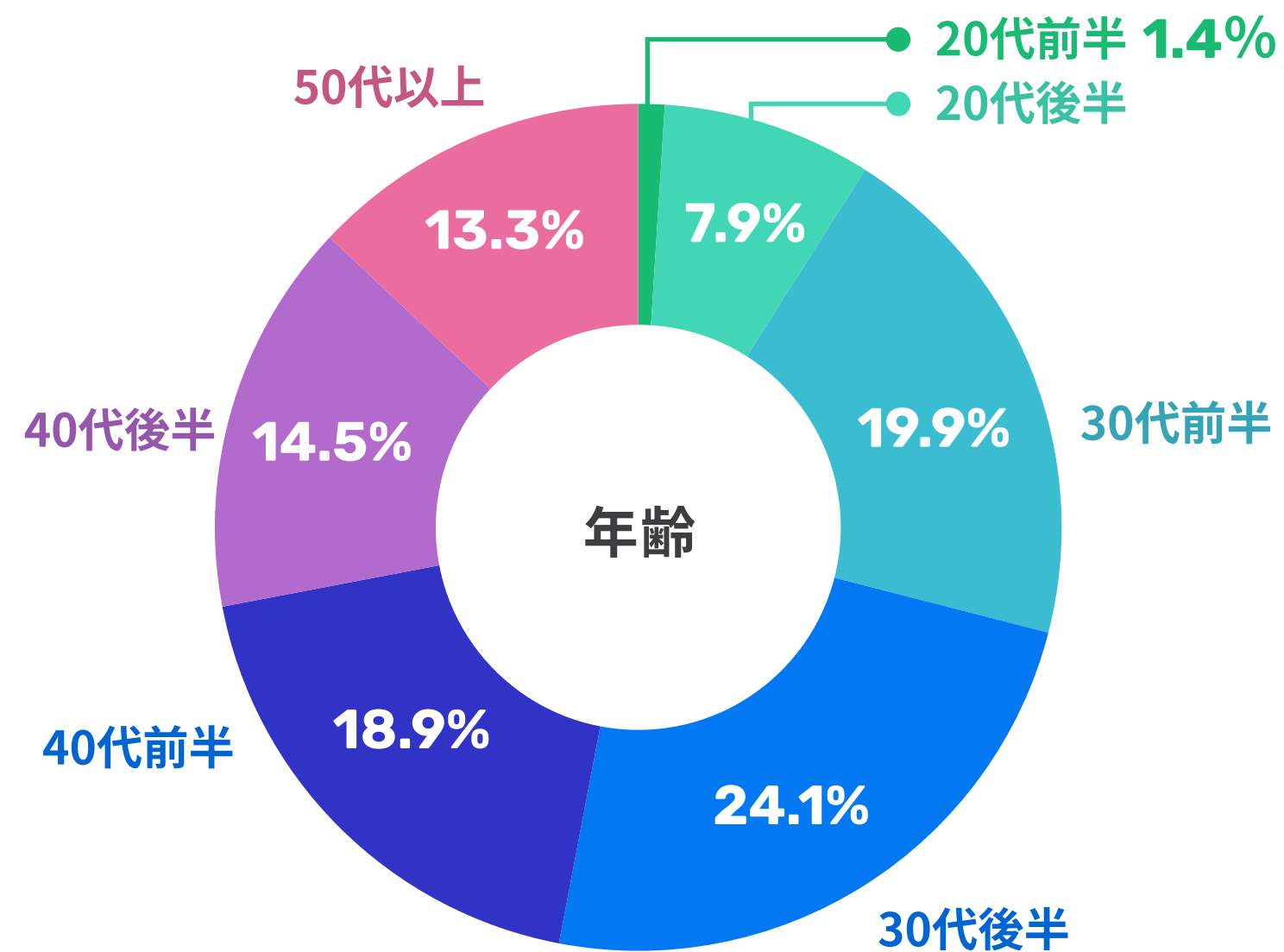
調査対象：Findy会員ユーザー 回答者数：625名（有効回答数：605名）

01 調査対象者の概要

回答者は30代～40代で経験10年以上のエンジニアが多い。

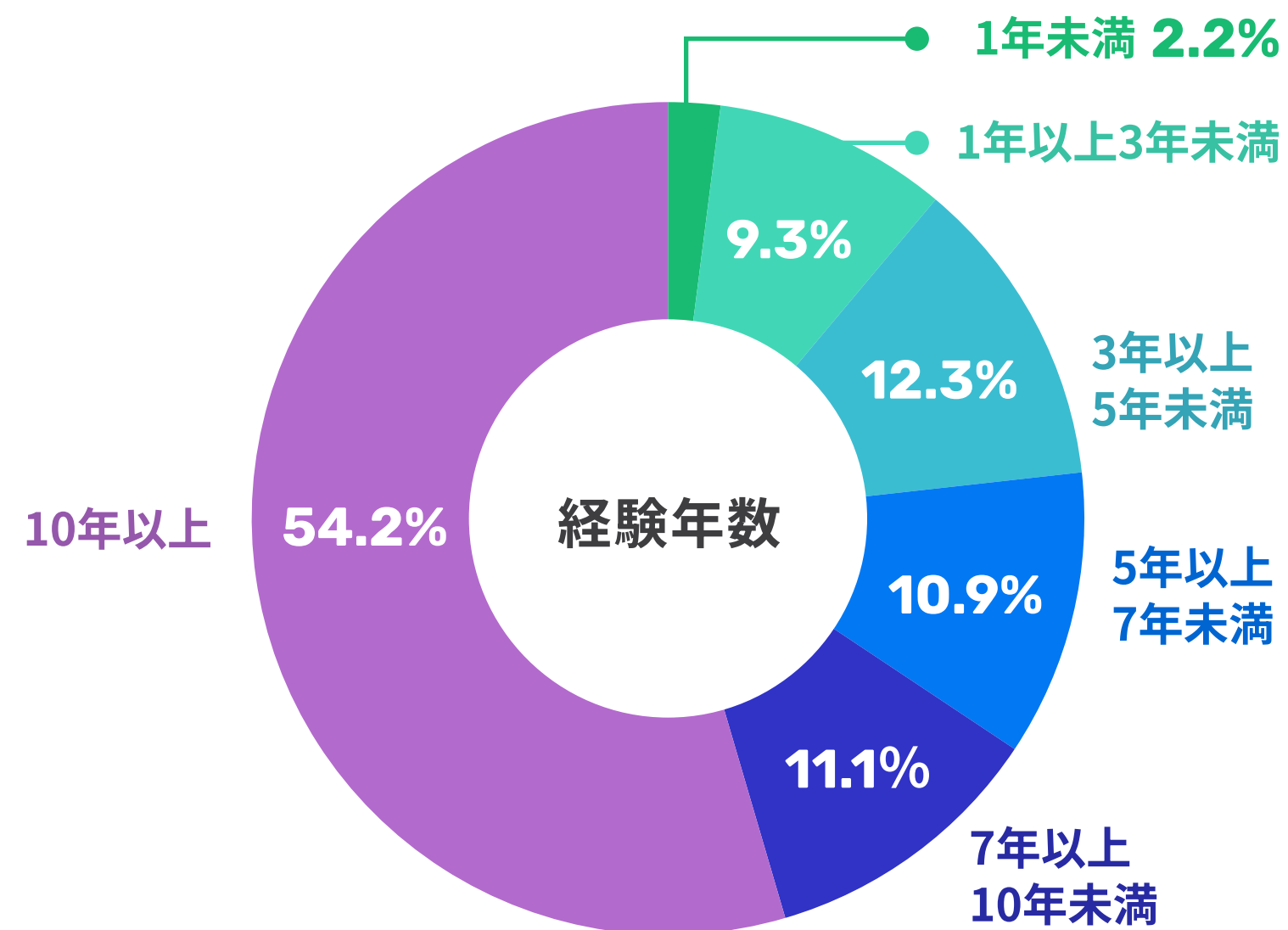
設 問

あなたの年齢を教えてください



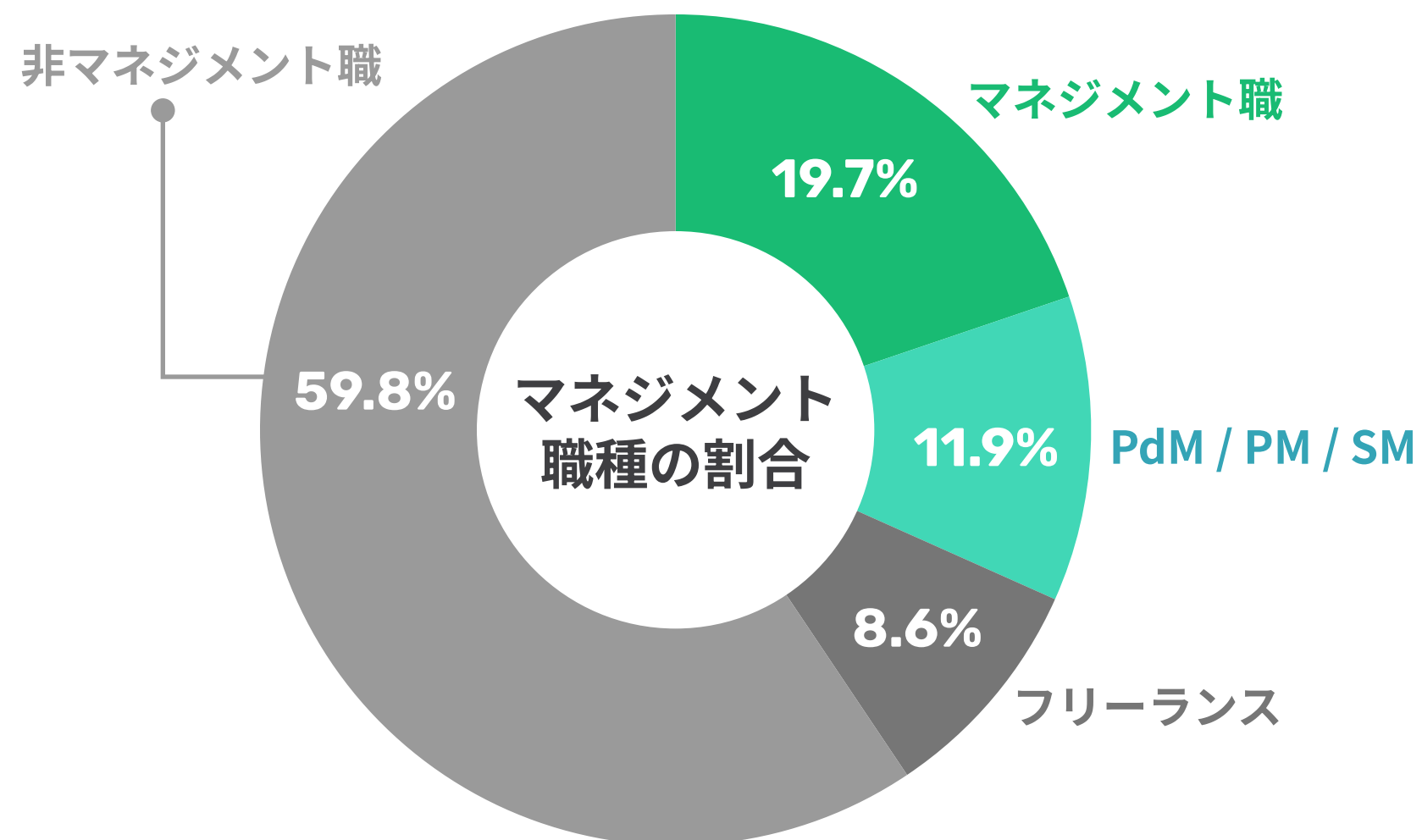
設 問

エンジニアとしての経験年数を教えてください



回答者の2割がテックリード・EMなどのマネジメント職。
また、回答者のおよそ6割が役職を持たないエンジニアとなっている。

設 問 マネジメント職に該当する方は当てはまるものをお答えください

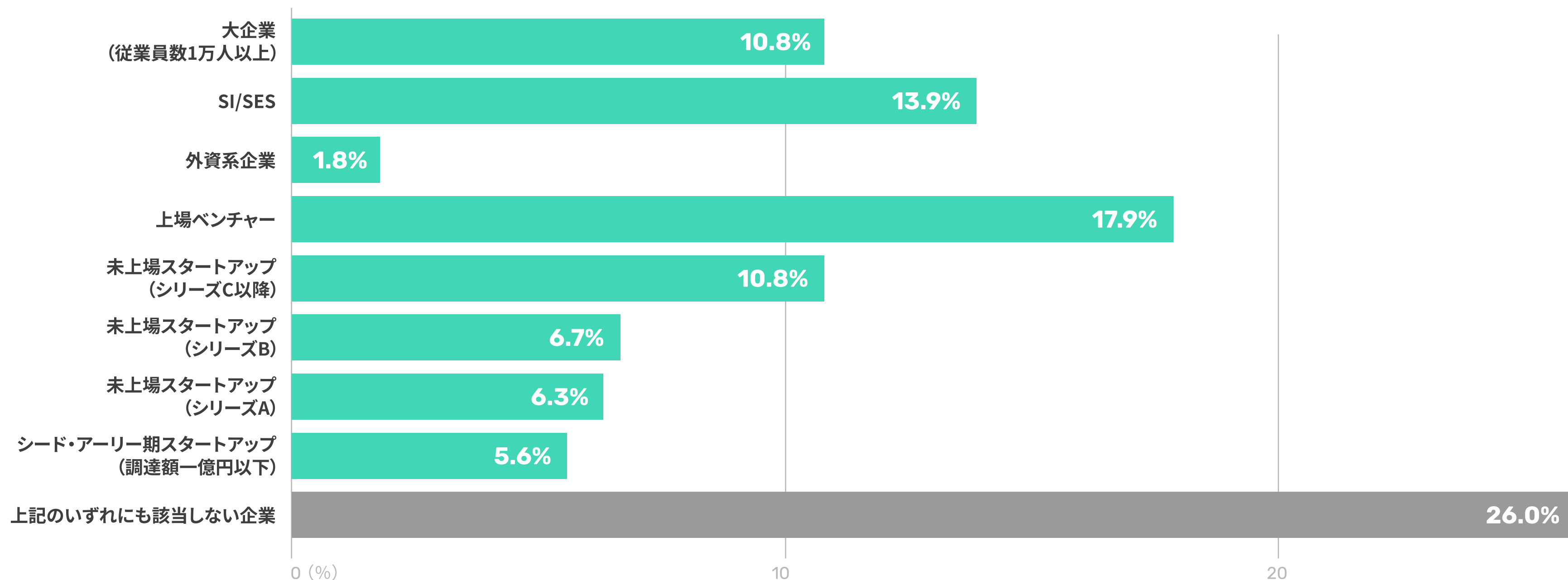


「マネジメント職種」回答者の内訳

テックリード	62名
エンジニアマネージャー	46名
CTO / 技術顧問	8名
CEO / 経営者	3名

回答者の所属企業規模は「上場ベンチャー」が最も多く、それを含むベンチャー企業所属者が約半数。
他、大企業やSIerに所属するエンジニアも一定数回答。

設 問 現在所属している企業のタイプに当てはまるものを教えてください



回答者の過半数が「バックエンドエンジニア」「フロントエンドエンジニア」「フルスタックエンジニア」などのWebアプリケーション開発に従事。

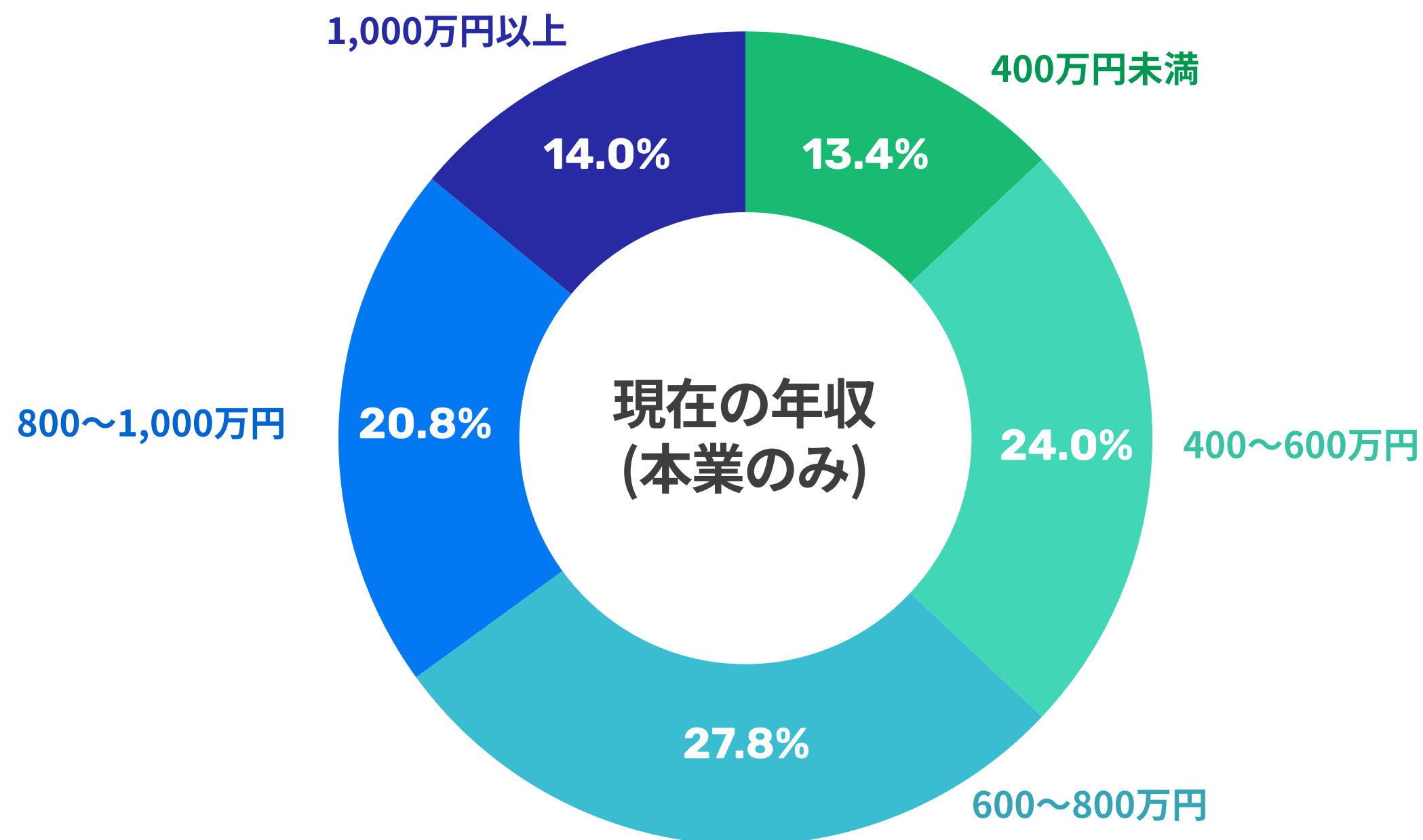
設 問 あなたの現在の職種として、最も当てはまるものを1つお答えください

1	バックエンドエンジニア	25.8%	11	機械学習エンジニア	2.0%
2	フルスタックエンジニア	19.2%	11	データサイエンティスト	2.0%
3	フロントエンドエンジニア	11.6%	13	組み込みエンジニア	1.7%
4	インフラエンジニア	4.3%	14	Androidエンジニア	1.5%
5	iOSエンジニア	4.2%	15	テクニカルサポート	1.0%
6	SRE	4.1%	15	セキュリティエンジニア	1.0%
7	QAエンジニア	3.8%	17	プリセールス	0.8%
8	情報システム	3.5%	18	データベースエンジニア	0.7%
9	SIエンジニア	2.5%	18	ゲーム開発エンジニア	0.7%
10	データエンジニア	2.3%	18	DevOpsエンジニア	0.7%
			21	データアナリスト	0.5%
			22	ネットワークエンジニア	0.2%
			23	その他	6.1%

回答者の年収帯は「600~800万円」が最も多いが、
「年収400万円未満」や「1,000万円以上」の回答率も10%を超えている。

設 問

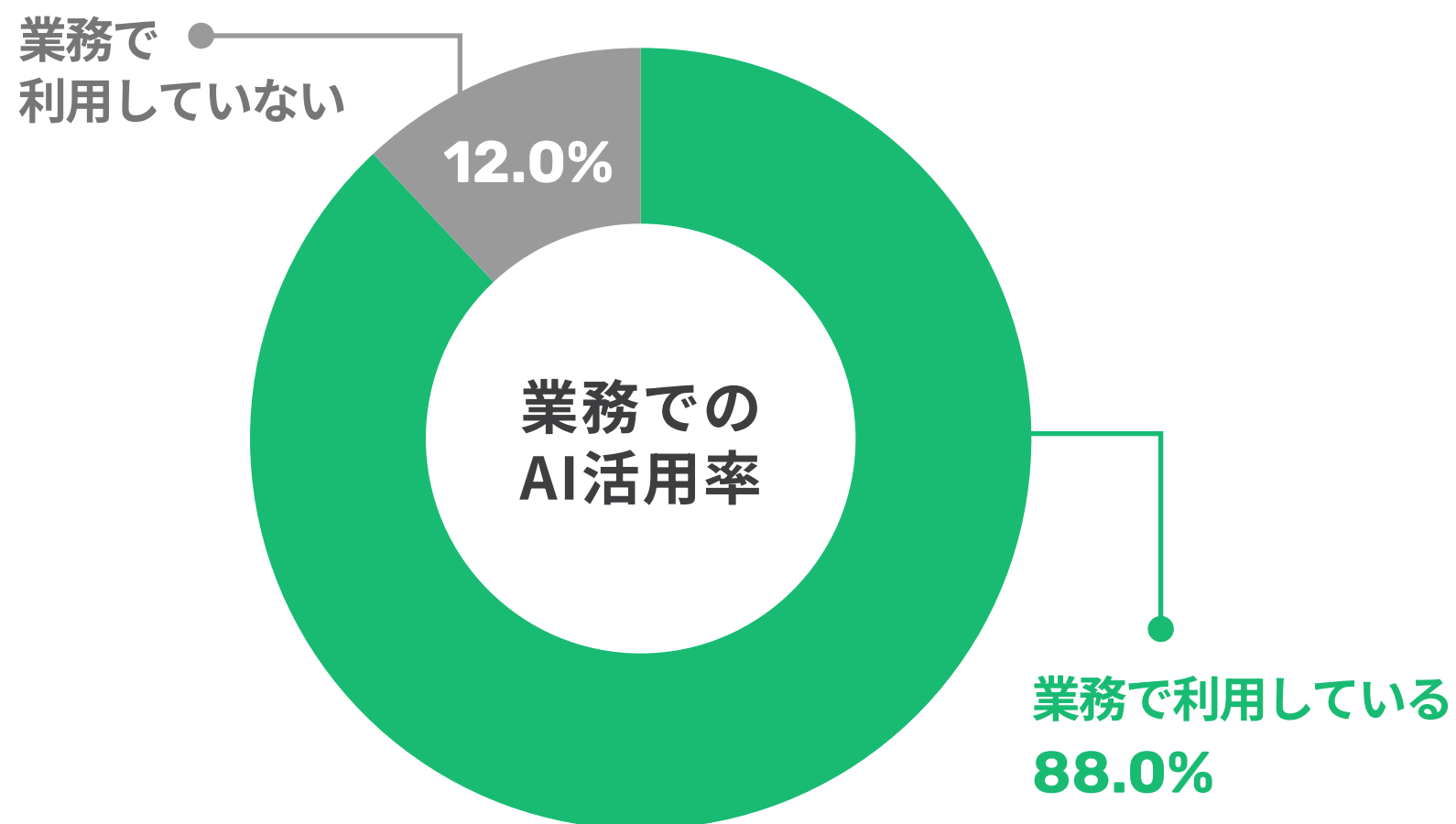
現在の年収(本業のみ)について当てはまるものをお答えください。 ※手取り金額ではなく、額面上の金額をお答えください



02 AIツール・技術の活用状況

回答者の約9割が何らかのツールを「業務で利用している」と回答。1月調査時と比較すると、GeminiやClaudeなどのAIモデルや、Cursorの利用率が大きく上昇している。

設問 以下のツール・技術の利用状況について、最も当てはまるものを選んでください



選択肢として用意した21種類のツール・技術のうち、1つ以上「業務で利用している」と回答した者を「業務で利用中」と見做して集計。

ツール別の利用率上位 (括弧内は25年1月の調査時数値)

ChatGPT	68.5%	(前回：61.2%)
GitHub Copilot	48.4%	(前回：49.8%)
Gemini	44.9%	(前回：18.6%)
Claude	32.6%	(前回：16.9%)
Cursor	25.4%	(前回：10.7%)

各ツールごとに「業務で利用中」を選択した人数のみを集計

各ツール別の2025年6月時点での活用状況

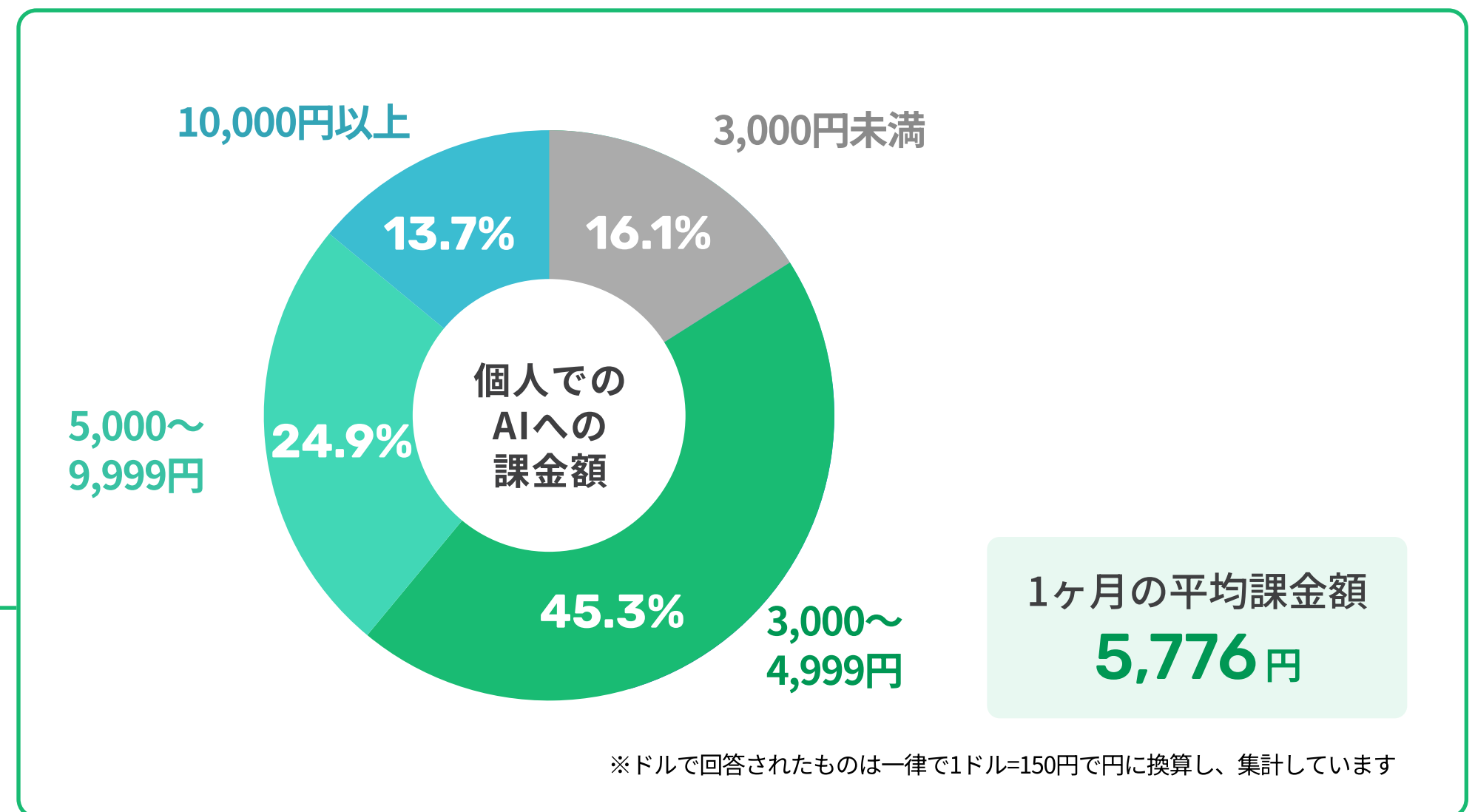
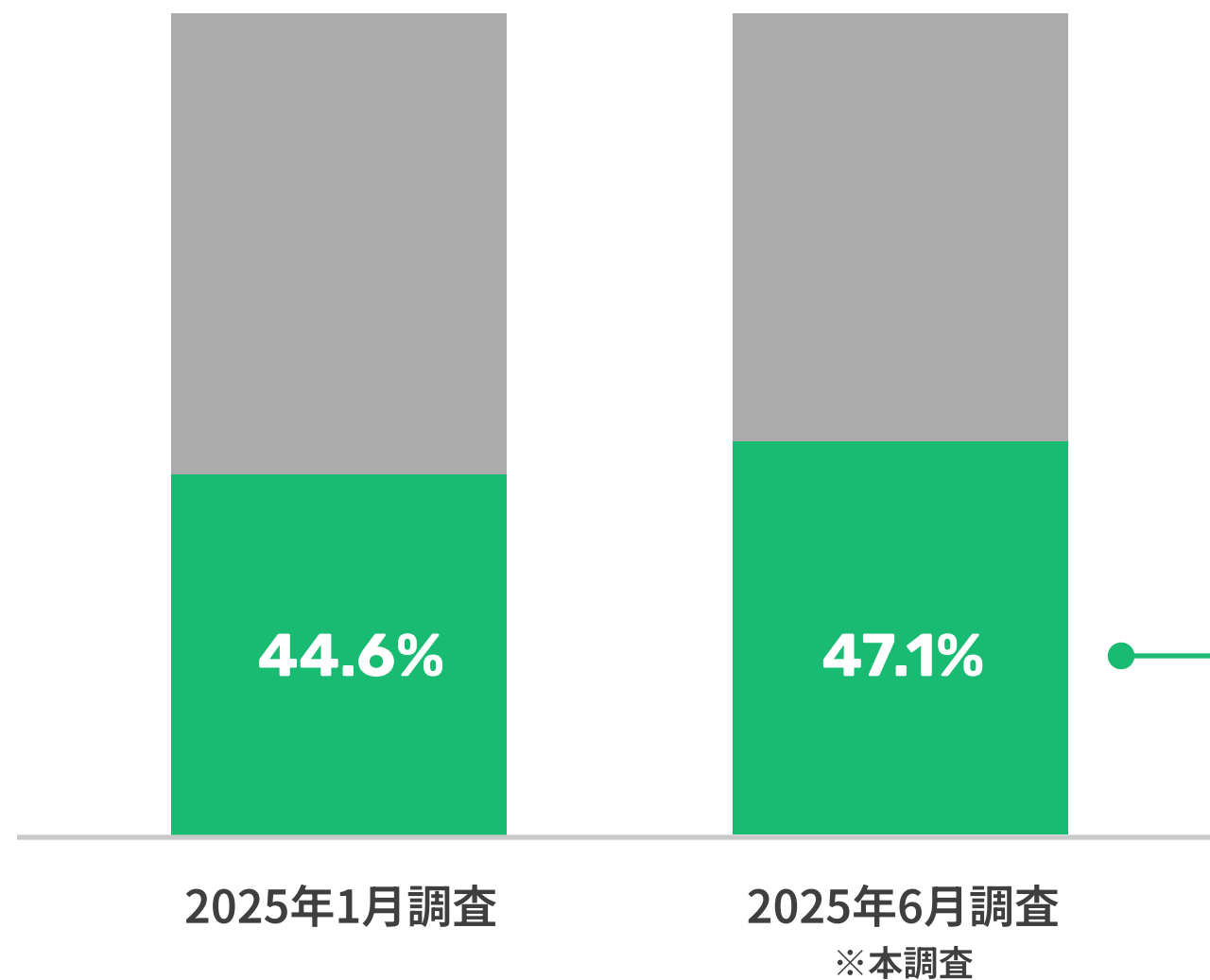
設 問 以下のツール・技術の利用状況について、最も当てはまるものを選んでください

	業務で 活用している	触った ことがある	何ができるかは 知っている	名前は 聞いたことがある	名前を 聞いたことがない	2025年1月調査時の 業務利用率
ChatGPT	68.5%	27.7%	2.6%	1.2%	0.0%	61.2% (+7.3%)
GitHub Copilot	48.4%	20.0%	21.3%	9.2%	1.0%	49.8% (-1.4%)
Gemini	44.9%	35.7%	11.5%	6.8%	1.0%	18.6% (+26.3%)
Claude	32.6%	27.7%	20.2%	12.4%	7.1%	16.9% (+15.7%)
Cursor	25.4%	18.3%	32.9%	13.1%	10.3%	10.7% (+14.7%)
NotebookLM	22.5%	23.0%	19.5%	17.8%	17.2%	※前回調査なし
Perplexity	13.2%	25.6%	13.4%	14.8%	32.9%	※前回調査なし
Devin	9.8%	8.2%	42.9%	19.7%	19.5%	1.8% (+8.0%)
Cline	9.6%	14.6%	37.8%	18.1%	19.9%	2.2% (+7.4%)
Claude Code	7.5%	13.4%	41.6%	22.1%	15.3%	※前回調査なし
Canva	6.4%	24.7%	19.7%	23.0%	26.1%	※前回調査なし
LangChain	6.1%	9.4%	20.9%	23.0%	40.6%	4.9% (+1.2%)
Dify	5.4%	10.8%	28.7%	26.5%	28.6%	2.5% (+2.9%)

上記以外の選択肢：DeepSeek, Felo, Bolt, v0, GenSpark, LangSmith, LangGraph, LangFuse

AIツールの活用率上昇に反して、個人での課金率は1月調査時からほぼ横ばい。
課金額の大まかな構成比もほぼ変化なく、個人での投資は直近半年では変化がない。

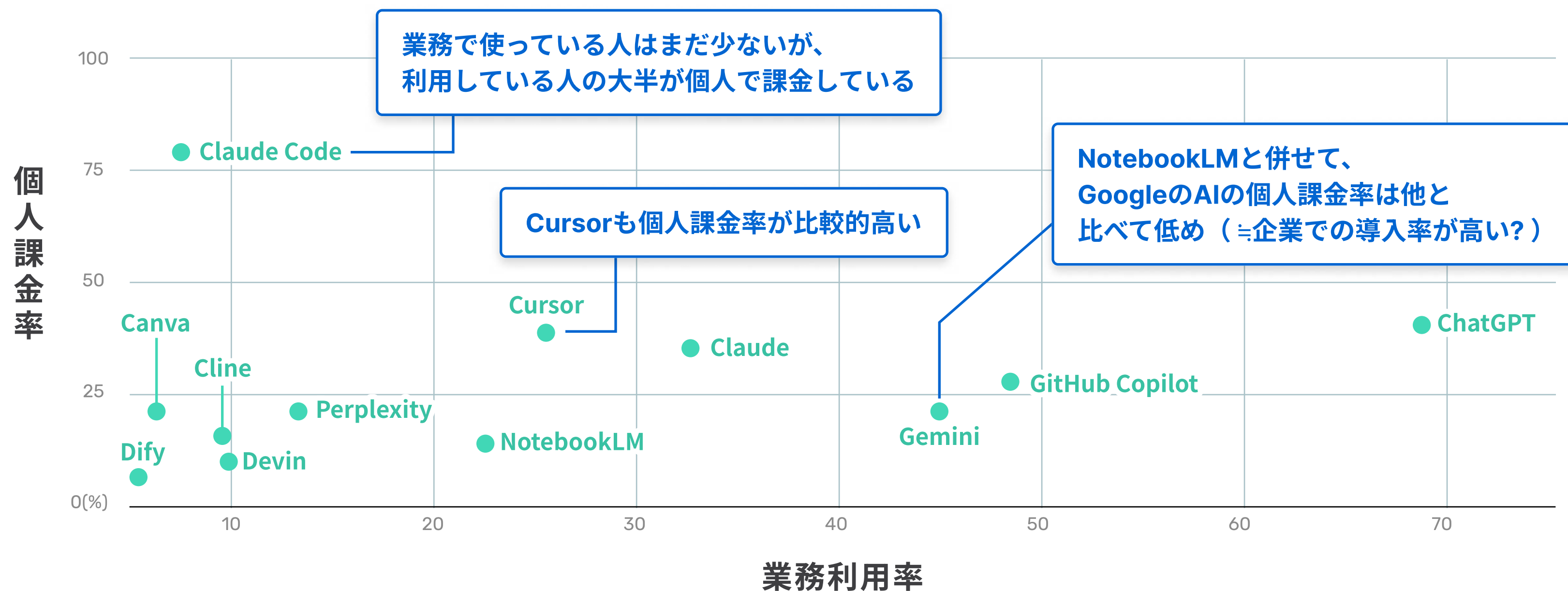
設 問 個人で生成AIツール・技術に月間いくら課金していますか？



※前回の調査結果は[こちら](#)からご確認ください。

利用者を分母にした際の“課金率”が最も高いのはClaude Code。
次いでCursorも続いており、個人では好みのコーディング支援ツールに課金する動きが象徴的。

設 問 次のうち、あなたが個人で課金をしているサービスを全てお選びください



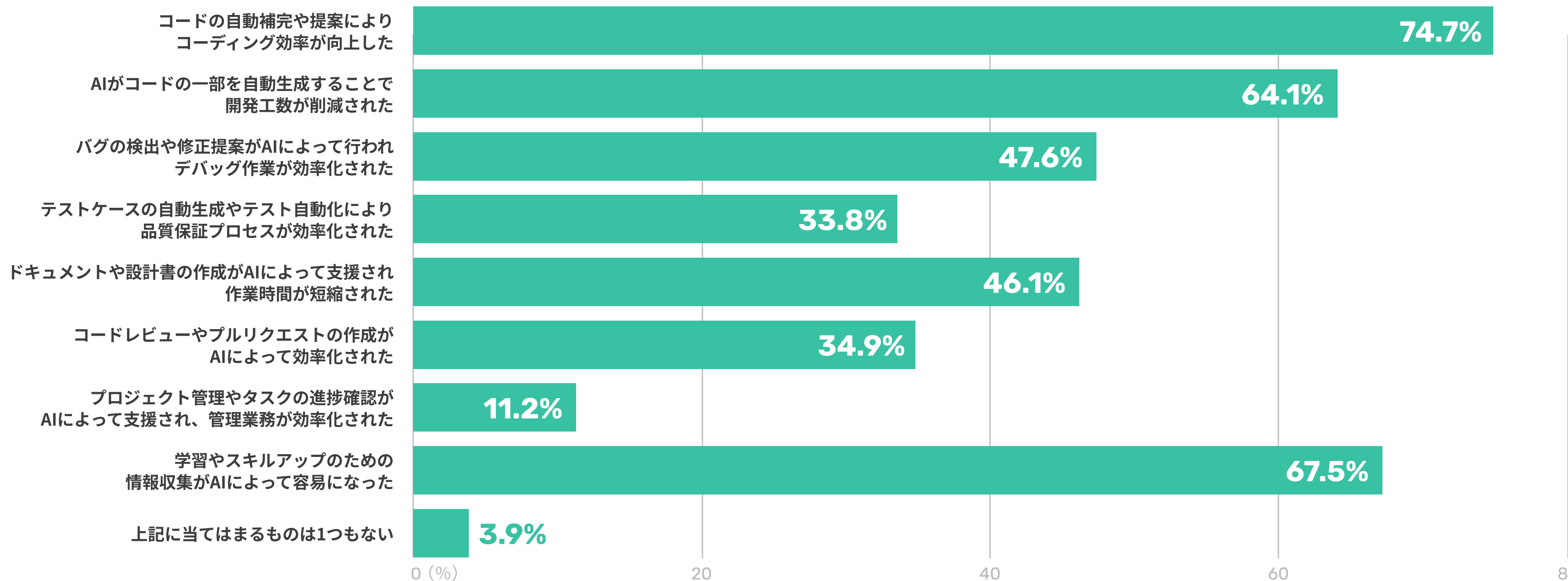
技術領域別の知名度で見ると、AI AgentやMCPなどの流行りの技術用語への理解度は過半数を超えており、AI領域の技術に対する関心の高さが伺える。

設 問 以下のツール・技術の利用状況について、最も当てはまるものを選んでください

	用語理解度	業務で 活用・開発している	どんなものが 説明できる	名前は 聞いたことがある	名前を 聞いたことがない
LLM	72.3%	41.3%	31.0%	21.8%	5.9%
AI Agent	64.6%	25.4%	39.2%	26.1%	9.2%
MCP	57.3%	14.3%	43.0%	25.3%	17.4%
Vibe Coding	51.6%	18.8%	32.8%	22.0%	26.5%
RAG	50.2%	16.0%	34.1%	28.2%	21.6%
A2A	19.5%	1.2%	18.3%	24.7%	55.7%

AIの影響として「コーディングの効率化」の回答が最も多く、 次いで「情報収集」のハードルが下がったことが挙げられている。

設 問 AI技術・ツールの普及によって、あなたの仕事に影響はありましたか？ 次のうち、当てはまるものを全て選んでください



AIによる開発プロセスやエンジニアリングの変化に対しては、 9割以上の回答者がポジティブであると回答。

設 問

AI技術・ツールの普及によって、開発プロセスやエンジニアの役割が大きく変わろうとしています。この変化について、次の選択肢のうち最も今の気持ちに近いものを1つお選びください。

どちらかという
ポジティブ ●

43.5%

とても
ポジティブ ●

46.7%

AIの普及に対するポジティブな声（一例）

AI の普及によって開発スピードが圧倒的に向上し、少人数でも事業の成長スピードを落とさずにサービス開発ができるようになったことがポジティブな大きな変化だと感じています。例えば、従来は一人に対応しようとする文書の読解や現状調査に多くの時間がかかっていた作業（インフラ・ミドルウェアの更新やマイグレーション、言語のバージョンアップなど）が、AI の活用によって非常に高速に遂行できるようになり、生産性が何倍にも向上した実感があります。

以前より日本はエンジニアの人手不足が問題視されていたので、AI活用による効率化で少ない人員でも成果を出せる希望が見えたため。個人のエンジニアの負担を減らす流れに進んでいると思うため。

定型コード書くことから開放される＆ひとりでも観点漏れが少なくなるので本質的なことに時間を割けるようになる。

変わるべきものだと思っている事と専門職として切り離されていた職種だったものが、プロダクトを考えるという思想に変わっていく事でより製品向上の精度が上がっていくと考えた為。

Whatの部分はAIにやってもらうことで、人間はWhyの部分により注力できるようになっているから。

03 AIの普及によるキャリア選択への影響

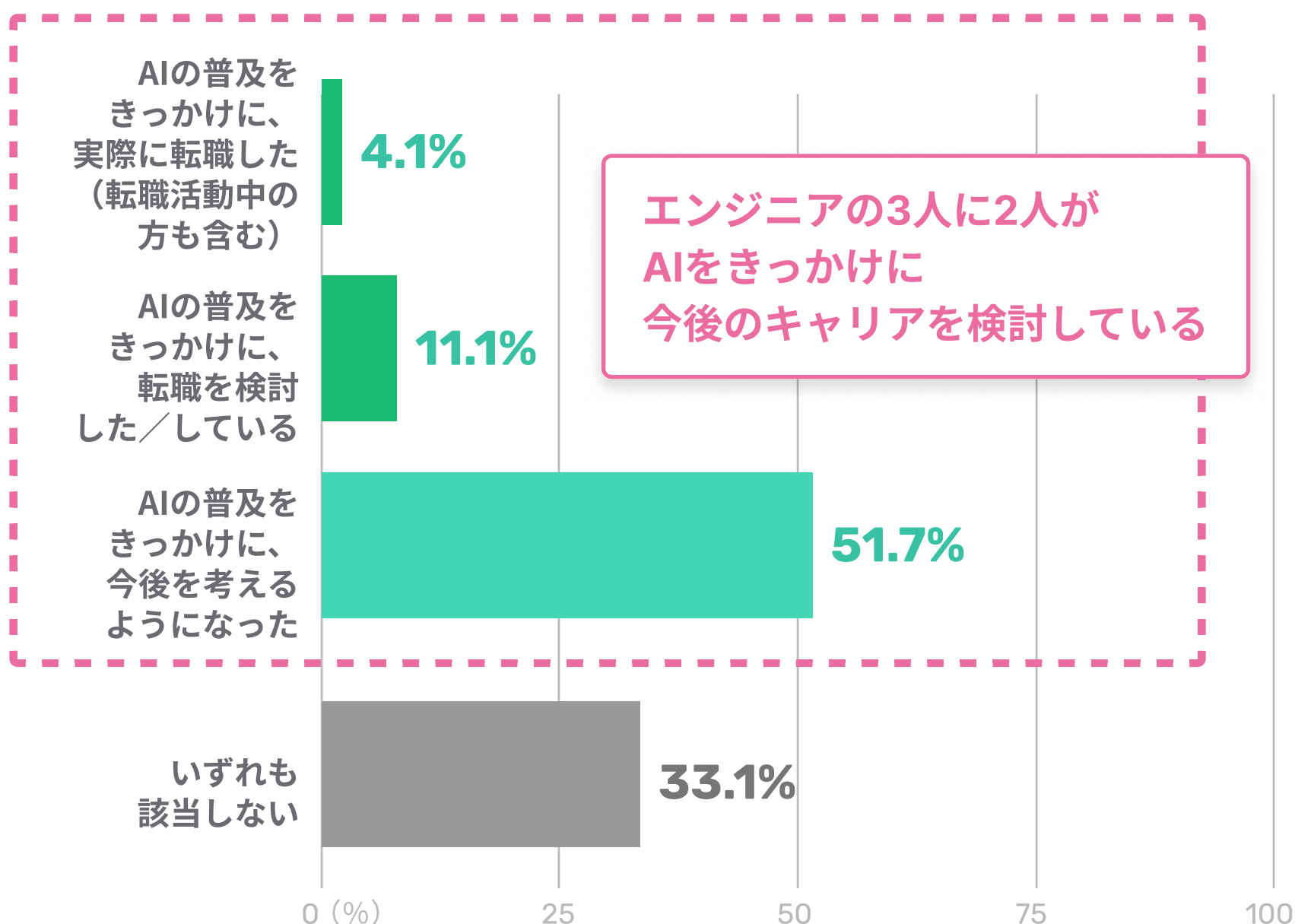
直近半年間で、66.9%のエンジニアがAIをきっかけに今後のキャリアを検討しており、また8割以上がAI活用に積極的な企業への転職を期待している。

設 問

直近半年間で、AI技術・ツールの普及を受け、ご自身のエンジニアとしてのキャリアを見直し・再検討する機会がありましたか？

設 問

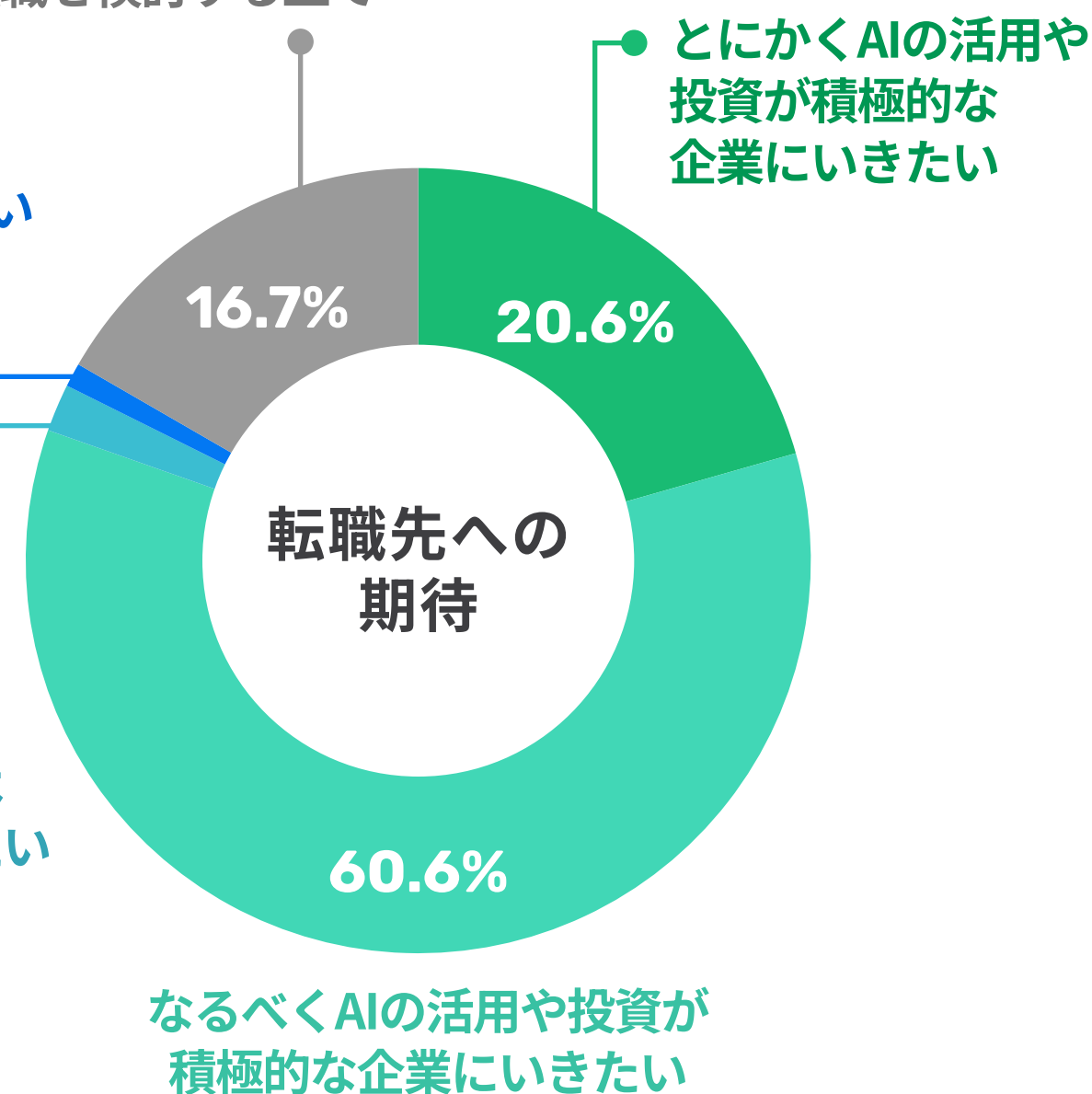
仮に直近半年以内に転職（または企業への就業）を行う場合、今の気持ちに最も近いものを1つ選んでください



AIの活用状況は転職を検討する上で一切考慮しない

AI活用や投資に全く積極的ではない企業にいきたい
0.2%

AI活用や投資があまり積極的ではない企業にいきたい
1.9%



転職先候補を絞り込む上で「当該企業のAI活用状況」は考慮されており、特に求職者自身がAI活用を積極的に行うほど、より先進的なAI活用企業への転職を希望される。

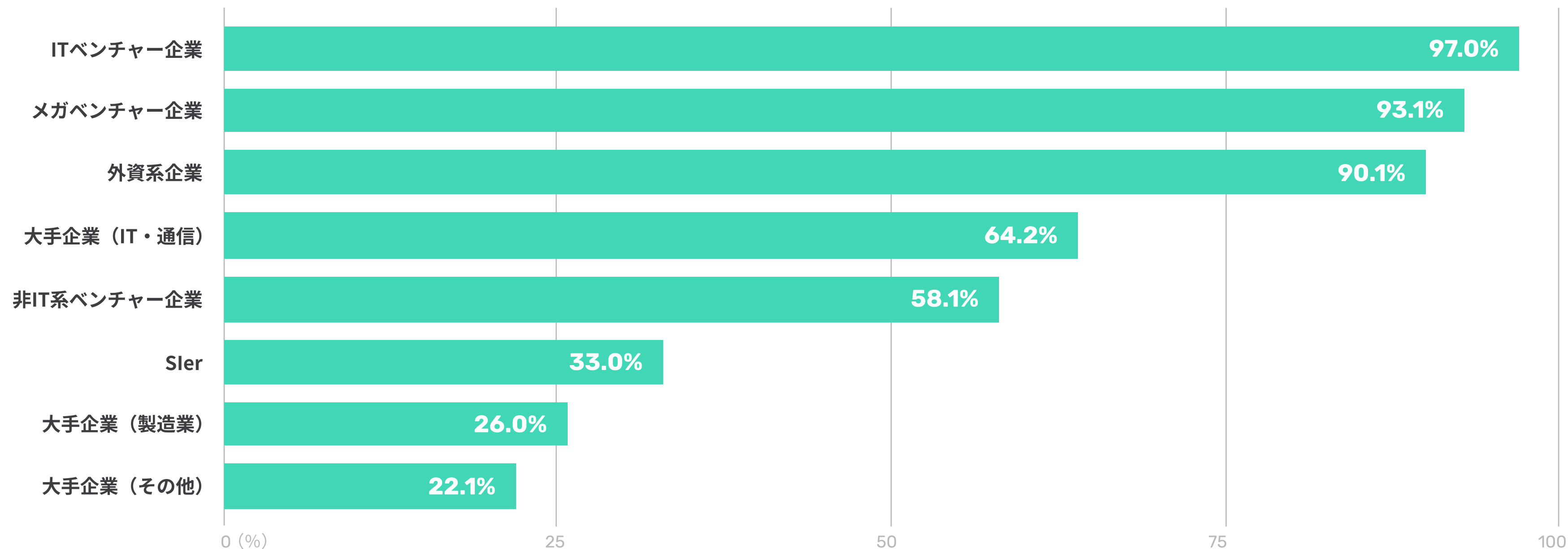
設 問 (クロス集計) 回答者自身のAI活用状況 × 転職先として理想のAI活用状況

	自分自身の現在のAI活用状況よりも進んでいる企業にいきたい	自分自身の現在のAI活用状況になるべく近い企業にいきたい	自分自身の現在のAI活用状況よりなるべく遅れている企業にいきたい	AIの活用状況は考慮しない
AI技術・ツールの活用について、日本国内のエンジニアの中では、かなり進んでいると思う	10.7%	64.3%	0.0%	25.0%
AI技術・ツールの活用について、日本国内のエンジニアの中では、比較的進んでいると思う	30.1%	61.8%	0.8%	7.3%
AI技術・ツールの活用について、日本国内のエンジニアの中では、平均的な活用状況だと思う	27.7%	57.7%	1.1%	13.5%
AI技術・ツールの活用について、日本国内のエンジニアの中でも、比較的遅れていると思う	15.4%	52.7%	2.2%	29.7%
AI技術・ツールの活用について、日本国内のエンジニアの中でも、かなり遅れていると思う	3.4%	41.4%	6.9%	48.3%

実態とは関係なく、企業の規模や業態によって「AI活用」の進捗度合いのイメージに差分はあり、今後のエンジニア採用にはAI活用実績の開示やPRが重要となりうる。

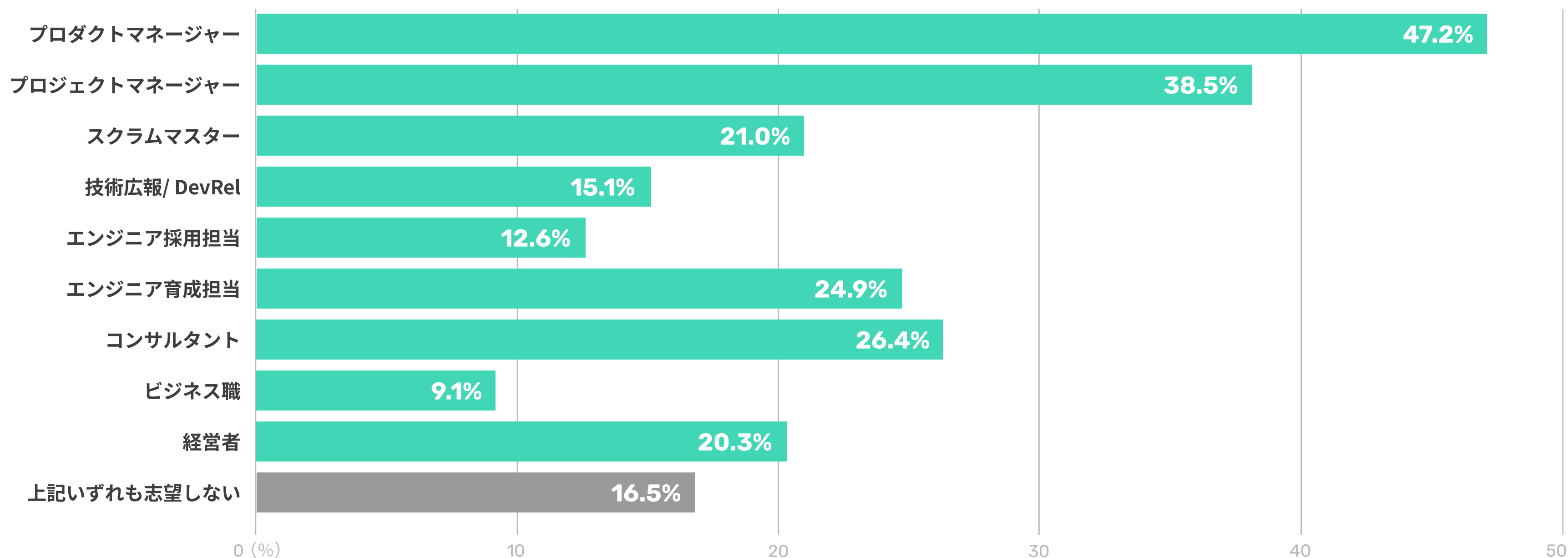
設 問

次に挙げる企業群について、「AI技術やツールの活用状況」という観点であなたが思うイメージに最も近いものをそれぞれお選びください
※「非常に進んでいる」「やや進んでいる」の選択肢の回答率の合計を記載



エンジニア以外のキャリアとして「プロダクトマネージャー」を挙げる方が47.2%おり、キャリア選択の幅が広がっているといえる。

設 問 今後のキャリアを考えるにあたって、エンジニア以外のキャリアの選択肢として候補になりうるものを全て選んでください



海外企業やITベンチャー企業だけでなく、NTTやトヨタなどの国内大企業を想起する回答者も多数。

設問 「AI技術の活用」に積極的な企業と聞いて思い浮かぶ企業名を最大3つお答えください

海外企業

Amazon (AWSも含む)

Anthropic

OpenAI

Meta

Microsoft (日本マイクロソフトも含む)

日本企業

NTTグループ

サイバーエージェント

GMOグループ

ソフトバンクグループ

ディー・エヌ・エー

トヨタグループ

ファインディ

Preferred Networks

メルカリ

Ubie

ゆめみ

LINEヤフー

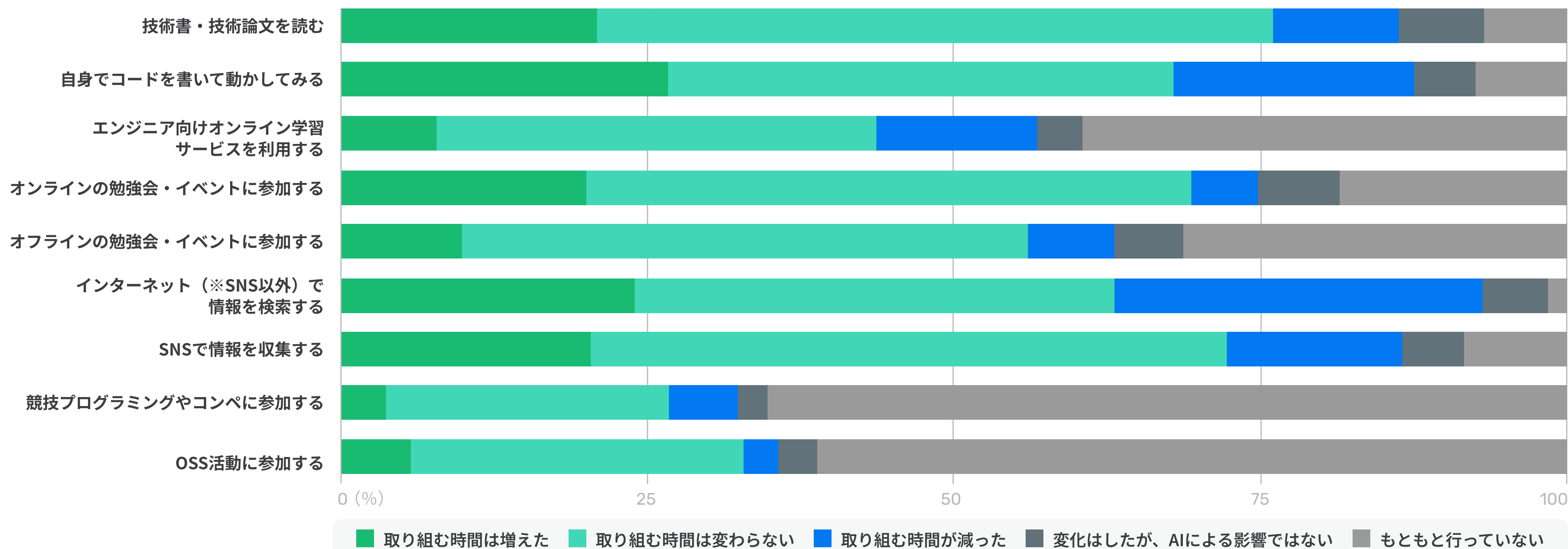
LayerX

ログラス

※回答数上位の企業のみ掲載

AIの普及によって自己研鑽の習慣にも変化が。「コードを書く」「ネットで情報検索」の2項目は「増えた」「減った」両方の変化が生じているのが特徴的

設 問 AI技術・ツールの普及によって、エンジニアとしての自己研鑽、自学自習の習慣に変化はありましたか？



おわりに

ファインディからのご案内



レポートの内容をさらに詳しく知りたい方は ユーザーサクセス面談をご活用ください！

Findyではエンジニアの方との面談を行い、
キャリアの壁打ちや転職支援を行っています

レポートに関連する「転職事例」「企業採用ニーズ」の解説に加え、
ご経歴を踏まえた個別のアドバイスが可能です。

面談でお話しする内容の一例

- ・企業のAI活用の動向
- ・AI時代のキャリア選択の事例

※転職意欲がないのに無理に転職を勧めることは一切致しません。

ユーザーサクセス面談の詳細はこちら

<https://findy-code.io/us-lp>





Findy

本レポートに関するご意見はこちら

レポートの感想や今後取り上げて欲しいテーマなど、
皆さまのご意見を募集しています。

<https://forms.gle/YBJBpvubxZm9qrNF6>